

各教科の指導の重点

基礎・基本を重視し、個に応じた指導、評価を生かした指導、少人数指導の充実を図り、児童一人一人に確かな学力を身に付けさせる授業を展開する。

- ・授業時数の確保、教育内容の吟味・精選
- ・学習スタンダードを用いて、学習の定着の素地を育成する。
- ・児童自らが目標をもって問題解決に向かう学習過程の設定
- ・評価規準、評価計画を基に形成的評価を生かした指導の改善

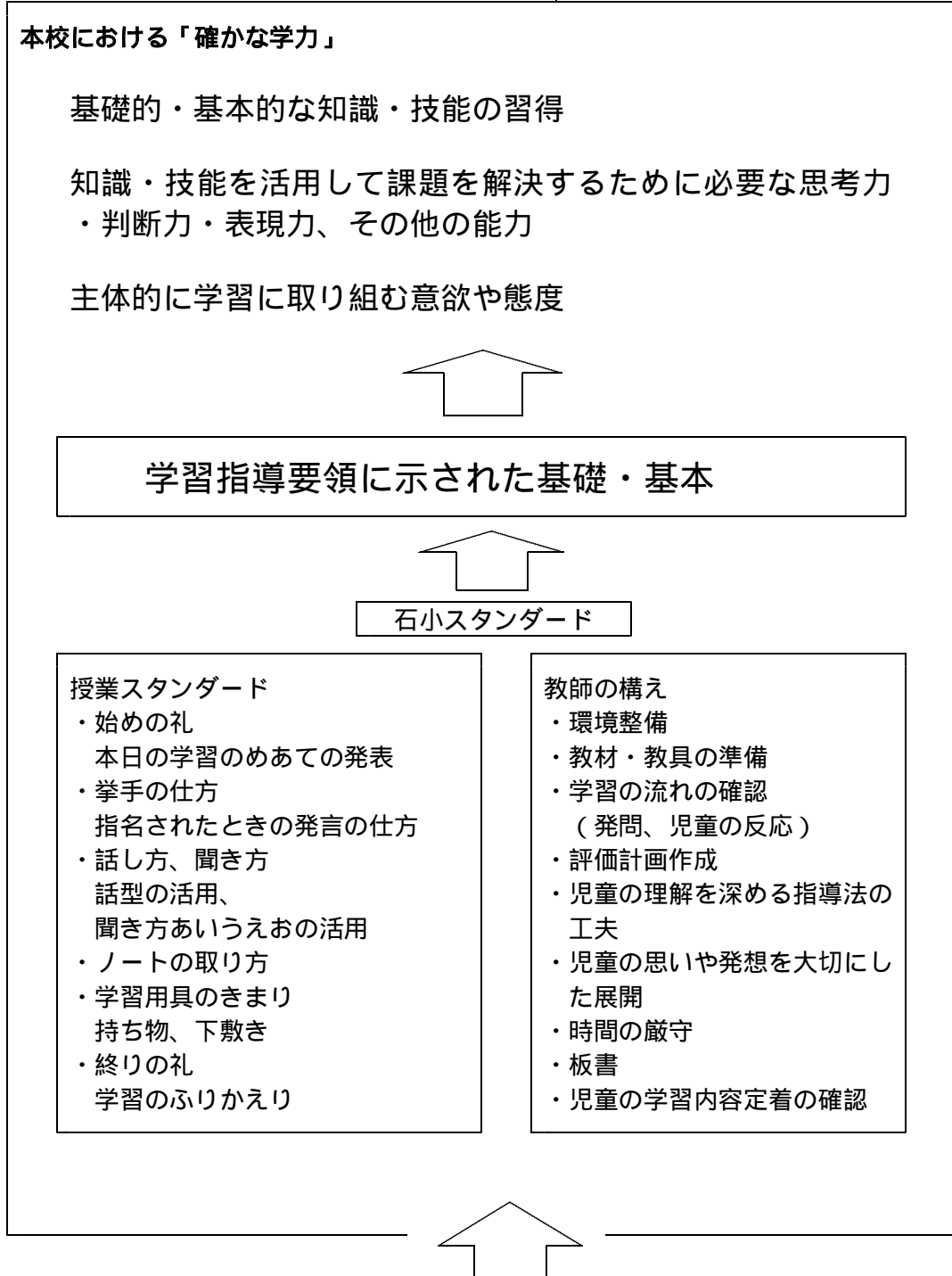
総合的な学習の時間の指導の重点

- ・地域の特色を生かすとともに探究的な学習を通して、児童が主体的に活動できるような単元を設定し、4年間を通して系統的・発展的に指導する。
- ・地域人材・施設リストの作成
- ・実施内容の共有化(職員室に掲示板設置)

進路指導の重点

- ・人権尊重の精神を基調とし、児童一人一人が個性や特性を伸ばし、各教科とキャリア教育の関連を図る。
- ・興味・関心に応じて自己実現を図ることができるようにする

低年: すきなことを見つけよう
 中年: 自分や友達のよさをみつけよう
 高年: 夢や希望にむかって挑戦しよう



道徳教育の指導の重点

道徳的心情、判断力、実践意欲と態度を高めるとともに、人権尊重、生命尊重の精神を育てる。

特別活動の指導の重点

- ・温かい人間関係を築き、知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性や社会性を育成することができるように指導する。
- ・集団の一員としての自覚をもち、児童の個性や能力の伸長、協力の精神を養うことができるよう指導する。
- ・なすことによって学ぶ活動を通して、自主的、実践的な態度を身に付けられるように指導する。

生活指導の重点

基本的な生活習慣を身に付け、規則正しい学校生活を送ることができる児童を育てる。

- ・「きびしく」「温かい」生活指導
- ・人を思いやり、人に迷惑をかけない生活習慣づくり

体力向上を目指す指導の重点

- ・新体力テストの実施と分析
- ・保険・食育指導の推進(食育計画による指導)
- ・全校によるカードを使った縄跳び月間・マラソン月間
- ・運動委員会による運動の紹介・アドバイス(大縄・鉄棒)

本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究と関連させ、生活科・総合的な学習の時間の指導の改善・工夫を図る。 ・体験的・問題解決的な学習を重視するとともに、児童の興味を喚起するような導入の仕方や教材教具の工夫をする。 ・少人数指導、学年合同授業、ゲストティーチャーによる授業など、学習形態・指導方法を工夫する。 ・発展的な学習、補充的な学習を取り入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間の弾力的な運用を行い、基礎・基本の充実を図る。 ・夏季休業前や休業後、冬季休業前や休業後は、通常の授業を行い、授業時数を確保し、繰り返し学習を取り入れ、基礎・基本の定着を図る。 ・情報収集・選択・活用の能力の育成のために、石神井図書館と連携を図り、学校図書館の活用や環境を整備し、言語活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域を愛し、学び、ともに生きる児童の育成」を研究主題とし、生活科・総合的な学習の時間の授業改善、年間計画・単元計画の改善を図る。 ・年6回の研究授業の他、地域に学ぶ研修会、総合的な学習の指導に関するワークショップなど、年15回の研究全体会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間のねらいを明確にし、そのねらいを達成するための評価と指導を工夫する。(名簿を活用した評価、机間指導による一人一人への支援等) ・学習や生活について、児童一人一人の成長を振り返りカードに記入し、個人面談等で保護者に伝える。 ・児童の生活アンケートの実態による分析し・指導方法を改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・石神井公園をはじめとする地域の自然環境、公共施設、地域の人々等を活用した生活科・総合的な学習の時間を中心とした体験的な学習を展開する。 ・石神井図書館・ふるさと文化館と連携を図り、学校図書館の活用や環境の整備を行う。 ・年2回の学校公開と年1回の道徳授業地区公開講座を実施し、本校の教育活動を公開する。 ・年3回の学校関係者評価を実施し、保護者や地域の声を次年度の教育活動に生かす。 ・地域行事へ積極的に参加する。